

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2016年12月5日 (月)

第695号 本号3頁

明日 秘密保護法廃止「12・6を忘れない6日行動」 「秘密保護法」廃止へ！実行委員会主催

◇12時～13時 **国会行動＝衆議院第二議員会館前**

◇18時45分～20時45分 **文京区民センター3A**

共謀罪の国会提出を許さない！市民の集い

講演＝元法務大臣平岡秀夫さん「共謀罪新設を進めるのは誰か」

対談＝平岡秀夫さん×海渡雄一さん「共謀罪、秘密保護法、盗聴法で進む監視社会」

明後日7日(水) 映画「高江一森が泣いている」上映会&スピーチ

解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会主催

◇18時30分～ **文京区民センター3A 参加費800円**

南スーダンPKO 派遣差し止めを 自衛官の母が国提訴

「自衛隊の南スーダンPKOへの派遣は憲法違反」と、自衛官の息子をもつ北海道千歳市の母親「平和子さん(実名は別)」が、派遣差し止めと撤退などを求めて30日、札幌地裁に提訴しました。自衛隊員の家族が、南スーダンPKO派遣問題で訴訟を起こしたのは初めてです。自衛隊員の家族として平和的生存権を侵害され精神的苦痛を受けたとして国に対し、20万円の国家賠償も求めています。次男が陸自東千歳駐屯地に勤務しています。



平さんは、10月30日の「自衛隊を南スーダンに送るな!いのちを守れ!青森集会」や、札幌や千歳市内で『駆け付け警護』で隊員が犠牲になる。自分が産んだ子ども、誰の子どもも死なせたくない」とマイクを握り訴えてきました。

訴状は、自衛隊の国連PKO派遣の違憲性について、(1)各国軍隊が派遣される国連PKOは、本質的に軍事力行使であり、自衛隊もその一員として活動することは憲法9条1項が禁ずる「武力の行使」にあたる(2)憲法9条の政府解釈に立っても自衛隊を海外に派遣する

ことは自国防衛の範囲を超え、明らかに「専守防衛」に反し、9条2項の「戦力」不保持規定に反する一と指摘しています。

安保関連法で新たに加わったPKOでの駆け付け警護等の任務についても、「武力(新任務)が行使されれば『交戦権』に発展する危険性は極めて高くなる」とし、憲法が禁じる「戦力不保持及び交戦権否定規定に反する」と断じています。

提訴後の記者会見で原告弁護団の佐藤博文弁護士は、「安保法が具体的に作動し、立憲主義が崩されるこの局面での、PKO派遣の違憲性を真正面から事実で迫るこの訴訟の意義は大きい」と強調し、「新任務付与で隊員が犠牲になる可能性が現実的になっている危機感がある。派遣差し止め・撤退を一刻も早くさせたい」と力を込めました。

翁長知事、改めて辺野古新基地建設阻止に 全力を挙げるとの考え示す！

翁長沖縄県知事の 28 日の就任 2 年を前にした報道各社のインタビューでの発言について、一部で、北部訓練場へのヘリパッド建設について「苦渋の選択の最たるものだ。4 千ヘクタールが返ることに異議を唱えることは難しい」との認識を示したことに、「公約との整合性が問われる」と報道しています。しかし、知事の公約と変わっていません。改めて、知事発言を紹介します。

記者 1996 年の日米両政府の沖縄に関する特別委員会（SACO）最終報告から 20 年、米軍基地返還は地元が望む形で進んでいない。

知事 北部訓練場（の部分返還）も苦渋の選択の最たるものだ。SACO 合意の着実な実施で約 4000 ヘクタールが返ってくることに意義を唱えることは難しい。しかし、現実には新しいヘリパッドが 6 カ所も造られ、環境影響評価もされないまま新型オスプレイが飛び交っている。いろいろな条件の中で返還されることは苦しい状況だ。

記者 知事選の公約では、オスプレイ運用と連動するヘリパッド建設に反対していたが。

知事 私は今日までオスプレイの配備撤回を公約に掲げてきた。撤回があればヘリパッドも十二分に運用しにくい。

記者 普天間飛行場の辺野古移設（新基地建設）をめぐる国との訴訟で、県敗訴の判決が確定しても移設阻止の考えに変わりはないか。

知事 司法の最終判断を尊重することは当然だが、今後も辺野古に新基地を造らせないと公約実現に向け、あらゆる手段で取り組んでいく。

記者 具体的な手段は。

知事 岩礁破碎、設計変更、サンゴ移植（を許可するかどうか）、（移設先周辺で）文化財が出ている問題などを、一つ一つ判断していきける。

このように、オスプレイ撤退を主張することで、ヘリパッドの撤去につなげたい考えを説明し、オスプレイ配備撤回、辺野古新基地建設阻止の公約が変わらないことを改めて示しました。また、名護市辺野古への新基地建設阻止に引き続き全力を挙げる考えを示しました。

安保破棄実行委 那覇で全国代表者会議を開催！

安保破棄中央実行委員会は 26 日、米軍ヘリパッド建設や辺野古への新基地建設を許さないたたかいを広げようと、全国代表者会議を那覇で開きました。

辺野古や高江の状況が報告され、沖縄平和市民連合の北上田毅氏は「政府は着陸帯の年内完成をいうが工事が難航している箇所もあり遅れている」と指摘。仲山忠克弁護士は「仮に裁判に負けても知事権限を行使すれば辺野古新基地は阻止できる」と訴えました。



「ヘリパッドいらない住民の会」の伊佐真次日本共産党東村議や沖縄県統一連の新垣繁信氏・中村司氏の両代表幹事、日本共産党の赤嶺政賢衆院議員、渡久地修県議らが連帯あいさつしました。

東森英男事務局長が行動提起し、沖縄に連帯する全国のたたかいを大きく広げることや、宮古島・石垣島・与那国島などへの自衛隊配備・強化の反対をはじめ、戦争法に基づく日米軍事一体化と基地の再編強化に反対する運動を強めることなどを呼びかけました。

各地のとらき

埼玉 「すべての暮らしは 25 条から 11.26 埼玉集会」に 300 人

憲法 25 条が謳う「健康で文化的な最低限度の生活」の実現へ、国民が連帯して声をあげていこうと、さいたま市で 26 日、「すべての暮らしは 25 条から 11.26 埼玉集会」が 300 人の参加で開催されました。

基調講演は立教大学の芝田英明教授が行い、「戦争国家」への動きが、教育や福祉、社会保障の削減を加速させていると指摘。社会保障などの予算は、軍事費の削減や大企業・富裕層に対する応分の課税などで確保すべきだと述べました。

リレートークでは、教育や子育て、労働、年金、介護、生活保護など各分野で活動する7人が発言し、暮らしの実態や国の社会保障制度改悪の影響などを告発しました。

年金削減違憲訴訟をたたかう原告の女性は、「年金カット」法案など相次ぐ改悪を批判し、「年金だけでは食べるのに精いっぱい。とても文化的な生活はできない」と訴えました。

生活保護削減違憲訴訟をたたかう女性は、食費の節約に体力を取られ、うつ病を治す休息がとれないと語りました。訴訟を批判した友人が実は苦しい生活をしていたとして、生活保護に対する理解を進めるためにも、国民全体の暮らしの不安を取り除くことが必要だと語りました。

埼玉弁護士会や埼玉司法書士会、労働組合、日本共産党の秋山文和県議など政党の代表らが連帯あいさつしました。

茨城 元公明党副委員長「今、恐ろしい事態」と指摘

茨城県土浦市の亀城講演で20日、「戦争法廃止、海外派兵・参戦は許さない県南集会」が開催されました。南スーダンPKOで自衛隊に危険な任務が付与され、「殺し殺される」最初のケースになる危険が切迫するなか、市民260人が参加し、戦後初の「戦場派兵」を許さないとの宣言を採択。JR土浦駅前までパレードしました。主催は、県南総がかり実行委員会。

実行委員会を代表して川口玉留さん（茨城6区筑波山地域市民連合）は、「今日から一刻も早く安倍内閣を退陣させるためにがんばる」と決意表明。元美浦村長の市川紀行さんは「戦争は始まったら止められない。憲法に基づく平和外交を」と呼びかけました。また、弁護士の尾池誠司さんは「今、抵抗の意思を市民が示そう」と訴えました。そして、元公明党副委員長の二見伸明さんはPKO法が問題となった1992年当時、公明党の政審会長を務め、「絶対曲げてはいけない5原則」がつけられた経緯を語り、「今、恐ろしい事態」と指摘しました。

さらに、障害者団体や百里基地反対同盟、どの子も殺させないママ・パパの会の代表らが発言しました。共産党、新社会党、社民党の地方議員が訴えました。

東京 どこにもオスプレイいらない 11・23 横田基地配備阻止へ5000人

30日に開催された憲法会議担当常任幹事会で、東京憲法会議の斉藤純一さんより11月23日に開催された横田基地へのオスプレイ配備反対集会の報告がありました。

「日本のどこにもオスプレイはいらない」—米軍のCV22オスプレイの東京・横田基地配備に反対する集会が福生市の多摩川中央公園で開かれました。横田基地には米空軍の特殊作戦用のオスプレイ（CV22）10機が来年から配備されようとしています。主催は安保破棄東京実行委員会などで構成するオスプレイ反対東京連絡会。集会には5000人が参加しました。

集会では東京地評議長の森田稔氏が、横田基地の機能強化の実態を告発し、配備阻止に向けて「幅広い団体と力を合わせオール東京のたたかいを追及して行きたい」と主催者あいさつしました。日本共産党の小池晃書記局長、宮本徹衆院議員、山添拓参院議員が登壇し、沖縄選出の伊波洋一参院議員、沖縄県名護市の稲嶺進市長から連帯のメッセージが寄せられました。そして、「オール東京」で配備阻止と基地撤去の実現をよびかけるアピールを採択しました。

集会後、基地ゲート近くまでアピール行進しました。



高江オスプレイ・パッド、辺野古新基地の建設は許さない！ 東京集会—沖縄連帯行動

- 日時 12月10日（土）13:30～
- 会場 日比谷野外音楽堂・銀座デモ
- 共催 基地の県内移設に反対する県民会議／「止めよう！辺野古埋立」国会包囲実行委員会／戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会